

安全上のご注意 必ずお守りください。

製品および取扱説明書には、重要な内容の記載があります。それは、お使いになる方や他の方への危害と財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくためです。次の内容(表示・図記号)をよく理解してから本文をお読みいただき、記載事項を必ずお守りください。

<p>警告 「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。</p>	<p>注意 「損害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。</p>	<p>表示の説明</p> <p>● してはいけない「禁止」内容です。</p>	<p>● 必ず実行していただく内容です。</p>						
<p>警告</p> <table border="1"> <tr> <td> <p>禁止</p> <p>●本製品は防水仕様ではないため、風呂場など、水気の多い場所で使用しない。 火災・感電・故障の原因となります。</p> </td> <td> <p>禁止</p> <p>●本製品を水につけたり、かけたりしない。ショート・火災・感電の原因となります。</p> <p>●不安定な場所で使用しない。落下してけがや破損の原因となります。</p> <p>●心臓用ペースメーカーを使用している方や、使用している方が近くにいる場合、及び特殊な医療機器付近では送信機を1m以上離して使用する。医療機器の作動に影響を与えるおそれがあります。</p> </td> </tr> <tr> <td> <p>分解禁止</p> <p>●絶対に分解、改造、修理はしない。故障・発火・感電・けがの原因となります。</p> </td> <td> <p>禁止</p> <p>●お子様がお使いになる場合はお子様がいたずらをしたり、他人に危害を及ぼさないよう十分に指導する。</p> </td> </tr> <tr> <td> <p>守る</p> <p>●幼児の手の届かないところに保管する。</p> </td> <td></td> </tr> </table>		<p>禁止</p> <p>●本製品は防水仕様ではないため、風呂場など、水気の多い場所で使用しない。 火災・感電・故障の原因となります。</p>	<p>禁止</p> <p>●本製品を水につけたり、かけたりしない。ショート・火災・感電の原因となります。</p> <p>●不安定な場所で使用しない。落下してけがや破損の原因となります。</p> <p>●心臓用ペースメーカーを使用している方や、使用している方が近くにいる場合、及び特殊な医療機器付近では送信機を1m以上離して使用する。医療機器の作動に影響を与えるおそれがあります。</p>	<p>分解禁止</p> <p>●絶対に分解、改造、修理はしない。故障・発火・感電・けがの原因となります。</p>	<p>禁止</p> <p>●お子様がお使いになる場合はお子様がいたずらをしたり、他人に危害を及ぼさないよう十分に指導する。</p>	<p>守る</p> <p>●幼児の手の届かないところに保管する。</p>		<p>注意</p> <p>●熱器具や火気のそばで使用しない。本体が変形し、火災、感電、故障の原因となります。</p> <p>●両面テープは塗装面、凹凸面、ザラザラした面などのはがれやすい場所で使用しない。落下によるけがや本体の破損の原因となります。</p>	
<p>禁止</p> <p>●本製品は防水仕様ではないため、風呂場など、水気の多い場所で使用しない。 火災・感電・故障の原因となります。</p>	<p>禁止</p> <p>●本製品を水につけたり、かけたりしない。ショート・火災・感電の原因となります。</p> <p>●不安定な場所で使用しない。落下してけがや破損の原因となります。</p> <p>●心臓用ペースメーカーを使用している方や、使用している方が近くにいる場合、及び特殊な医療機器付近では送信機を1m以上離して使用する。医療機器の作動に影響を与えるおそれがあります。</p>								
<p>分解禁止</p> <p>●絶対に分解、改造、修理はしない。故障・発火・感電・けがの原因となります。</p>	<p>禁止</p> <p>●お子様がお使いになる場合はお子様がいたずらをしたり、他人に危害を及ぼさないよう十分に指導する。</p>								
<p>守る</p> <p>●幼児の手の届かないところに保管する。</p>									

電池を安全にお使いいただくために

電池の使い方を誤ると電池が液もれをおこし、発熱や破裂したり、けがや各機器の故障の原因となるので以下を必ず守ってください。

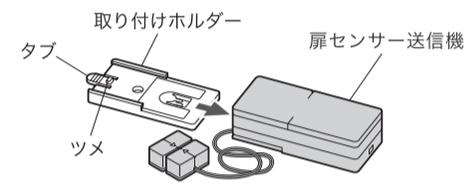
- 電池の液が目に入ったときは失明などのおそれがあるので、すぐに大量の水道水などのきれいな水で洗い流した後、直ちに医師の治療を受ける。
- 機器の指示に従って、⊕と⊖を正しく入れる。
- 電池は充電しない。
- 電池を使い切ったとき、長期間使用しないときは、機器から取り出しておく。
- 新しい電池と使用した電池、種類の異なる電池を混ぜて使用しない。
- ショートさせたり、分解したり、加熱したり、火に入れたりしない。
- 電池は乳幼児の手の届かない所に置く。誤って飲み込んだ場合は、すぐ医師へ相談する。
- 電池の液が皮膚や衣類に付着した場合には、すぐに大量の水道水などで洗い流す。
- 落下させたり、投げつけたりして強い衝撃を与えない。
- 電池に直接はんだ付けしない。
- 電池を廃棄する場合、自治体の条例などの定めがあるときは、その指示に従う。
- 電池を保管や廃棄する場合は、他の電池や金属製のものと接触しないようにテープなどで端子部を絶縁する。

1. 電池の入れ方

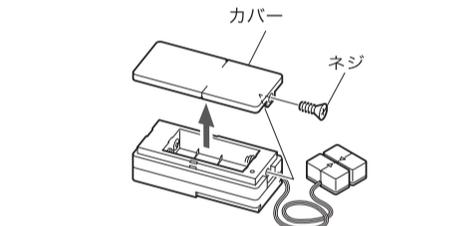
電池交換の際も同様の手順で行います。※呼び出し音が小さくなったり、動作が不安定になってきたら早めの電池交換をお勧めします。

扉センサー送信機

①タブを押しながら扉センサー送信機を引き抜きます。

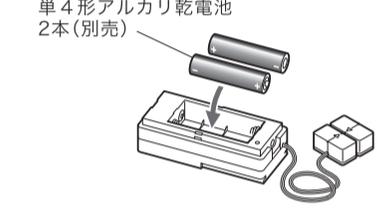


②ネジを外して、カバーを取り外します。



③図のように単4形アルカリ乾電池を⊕と⊖正しくセットします。

④カバーを元通りに取り付けます。

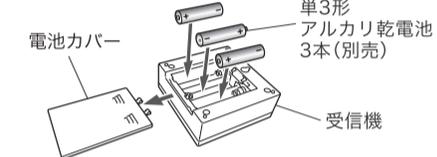


●電池交換お知らせ機能

- ・扉センサー送信機は電池切れが近づくと、ランプが点滅(赤色)します。
- ・電池式受信機は電池切れが近づくと、ランプが点滅(青色)します。

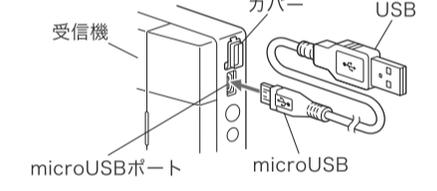
受信機

①電池カバーをスライドさせて、取り外します。
②図のように単3形アルカリ乾電池を⊕と⊖正しくセットします。
③電池カバーを元通りに取り付けます。

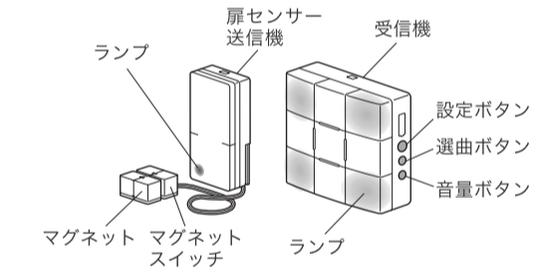


●microUSB ケーブル(市販)の使い方

- ・受信機のカバーを開けて、microUSBを接続します。
- ※microUSB 使用時は、必ず受信機の乾電池3本を取り外してください。
- ※市販の5V USBアダプターが必要です。



2. 送信機の登録方法



●登録方法

- ①受信機の設定ボタンを5秒以上長押しします。(ID学習モードスタート)
・5秒後に受信機のランプが4か所同時点滅します。
※約1分以内に手順②と③の操作をしてください。
- ②受信機の選曲ボタンを押して、呼び出し音を設定します。
・選曲ボタンを押すごとに呼び出し音が切り替わります。
・最後に鳴らした呼び出し音で設定されます。

呼び出し音
1 チャイム音(キンコーン×2)
2 チャイム音(キンコン カンコーン×2)
3 ノック音
4 チャイム音(ピンポー×2)
5 チャイム音(ピンボン×2)
6 鳩時計の音
7 鐘の音
8 チャイム音(ピンボン パンポー×2)

③登録する送信機側で以下の操作をします。送信機の種類により操作方法が異なります。

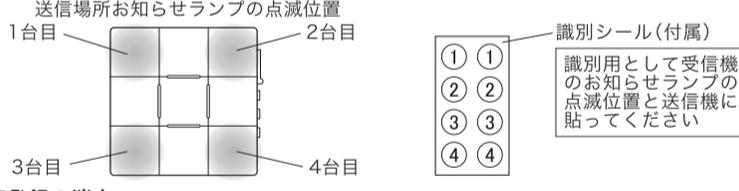
- ・押しボタン送信機・・・呼び出しボタンを押す
- ・人感センサー送信機・・・スイッチをONにする
- ・音センサー送信機・・・スイッチをLOW/HIGにする
- ・扉センサー送信機・・・マグネットを離す
- ・自家発電式押しボタン送信機・・・押しボタンを押す

※音センサー送信機：使用環境に合わせて感度レベルを調整してください。
・受信機が反応しないときは、スイッチをHIGにして感度レベルを上げてください。
・受信機が反応しすぎるときは、スイッチをLOWにして感度レベルを下げてください。

④「ID学習モードスタート」から約1分後に受信機のランプが4か所同時点滅します。(登録完了)

●送信機を追加登録する場合

- 「登録方法」の手順①から操作してください。
- ・受信機1台に対して送信機は4台まで登録できます。
 - ・呼び出し音は送信機ごとに設定できます。
 - ・4台の送信場所に対応したランプ(送信場所お知らせランプ)が点灯しますので、どこから送信されたかがわかります。
 - ※正しく登録できなかった場合は、「登録の消去」をしてから再度1台ずつ登録をしてください。



●登録の消去

- 複数の送信機が登録されている場合、1台ずつ個別に消去することはできません。すべての登録が消去されます。
- ①受信機の乾電池を取り外します。
 - ②受信機の設定ボタンを押しながら、乾電池を元通りに取り付け、5秒以上長押しします。

5. 設置方法

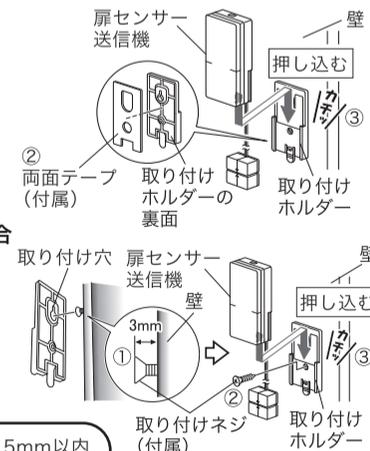
扉センサー送信機

●両面テープ(付属)で壁に取り付ける場合

- ①貼り付ける部分の水分、ほこりや汚れなどをきれいに拭き取ります。
- ②両面テープで取り付けホルダーを壁に貼り付けます。
- ③扉センサー送信機をカチッと音がするまで押し込んで取り付けます。

●取り付けネジ(付属)で壁に取り付ける場合

- ①取り付ける壁に取り付けネジを固定します。
- ②取り付けホルダーの取り付け穴を引っ掛け、取り付けネジで固定します。
- ③扉センサー送信機をカチッと音がするまで押し込んで取り付けます。



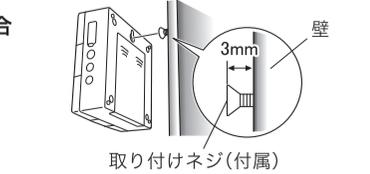
●マグネットの取り付け

扉を閉じた時に、マグネットのすき間が5mm以内になるように△マークを合わせて貼り付けます。

受信機

●取り付けネジ(付属)で壁に取り付ける場合

- ①取り付ける壁に取り付けネジを固定します。
- ②受信機の実り付け穴を引っ掛けます。

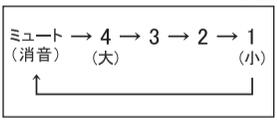


●その他の使いかた

- ・机に置くなど、お好きな場所に置いてお使いいただけます。
- ・ストラップ(市販)を取り付けて、使用することもできます。

3. 音量の設定

受信機の音量ボタンを押すことに音量が切り替わります。
・最後に鳴らした音量で設定されます。
・登録されている送信機の個別の設定はできません。



4. フラッシュ パターンの切り替えかた

受信機の設定ボタンを押すことにフラッシュパターンが切り替わります。
・最後に光らせたフラッシュパターンで設定されます。

